

# 学校図書館から 学びを変える

## 「荒川区学校図書館活用指針」

26年3月に、子どもたちが学校図書館をより効果的に活用することを目指した「荒川区学校図書館活用指針」を策定しました。新しい学びを創造する学校図書館を目指して取り組みを進めていきます。

これまでも、子どもたちの創造力を培い、学習に対する興味・関心等を高め、豊かな心を育くむ読書活動や読書指導の場である「読書センター」としての機能を高めてきました。

これからは、さらに子どもたちの主体的な学びを支援すると共に、情報活用能力を育成するための「学習・情報センター」としての機能を充実していきます。

問合せ 教育委員会指導室 ☎内線3385

### 学校司書が 毎日います

「いつでも開館・学校図書館・読みたくなったらすぐ行ける」  
区内全校に学校司書が常駐しています。



### 学校図書館で授業します

各教科で学校図書館を活用した授業を展開しています。



### 「情報の力」で学びが変わります



「アナログとデジタルの融合」  
学校図書館にタブレットPCを持ち込んだ学習を行っています。

### 「図書館を使った調べる学習チャレンジ講座」をやっています

区立図書館と学校図書館では、図書館振興財団が主催する「図書館を使った調べる学習コンクール」の参加に向けて、講座を夏休み前に実施しています。  
26年は、南千住図書館と尾久図書館でも「親子で調べる学習チャレンジ講座」を行いました。



## 「あらかわ寺子屋」 さあ、勉強を頑張ろう!

これまで学校ごとに行ってきた始業前や放課後などの補充学習を「あらかわ寺子屋」として、全ての区立小・中学校で実施しています。授業時間以外の学習時間を増やし、自分で学習する習慣を身に着けるための取り組みです。

全小・中学校で学校の先生や教員志望等の学生(ティーチングアシスタント)、退職教員を含む教員免許保持者(補充学習指導員)にあたり週に1回(年35回)以上を目途に、始業前または放課後等の補充学習を継続的・計画的に進めています。

教員志望等の学生(ティーチングアシスタント)や退職教員を含む教員免許保持者(補充学習指導員)を募集しています。  
応募・問合せ 教育委員会指導室 ☎内線3385



## 「自分たちのまちは自分たちで守る」 防災時に貢献出来る、防災ジュニアリーダーを育成します。

区立全中学校に、防災部(仮称)を設置し、日頃から防災意識を持って生活出来るよう「ジュニア防災検定」の受検を勧めるなど、防災に対する判断力や行動力を養い、防災ジュニアリーダーを育成します。

部員は、災害時に後方支援が出来るよう、D級ポンプの操作訓練や救命訓練等を行うと共に、地域の防災訓練に参加し、町会や消防団との連携を深めます。また、被災地であり、交流都市である釜石市の中学校等を訪問し、被災体験や復興状況を生で見聞きすることで、防災に対する意識を高めます。訪問後は、各中学校において、報告会を開催し、防災教育の充実を図ります。

